



令和7年度 福島県立いわき湯本高等学校 学校経営・運営ビジョン

【校 訓】

自立 友愛 創造

【教育目標】

多様な価値観を認め、自然や社会と共に生き、自己を取り巻く人々に尊敬と思いやりの心をもって接することのできる、友愛の精神にあふれた生徒を育成する。

「学習に力を入れたい、部活動・委員会活動を頑張りたい、そんな生徒の得意を伸ばします！」
「大学進学から就職まであらゆる生徒の進路実現を目指します！」

本校での学びの柱となる2コース（6系統）の授業、県教委の教育プログラム（保健・医療コース）、地域を学びのフィールドとした探究学習、活発な部活動・生徒会活動等、「いわき湯本ならではの」の教育活動において、生徒の個性に応じた、一人一人に寄り添ったきめ細かで丁寧な指導を実践し、生徒の夢の実現を図るとともに、地域を支える核となって活躍する人材を育成してまいります。

また、開校時からの理念である、“ありがとう”と言える・言ってもらえる生徒・教職員・学校を目指してまいります。

校長 阿 部 学

1 学力向上の実践・学びの変革

- 授業力の向上発展と充実
（よく分かり、力のつく授業－思考力・判断力・表現力を育てます）
- 個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びへ
- コース制（アカデミック・スペシャリスト）によるきめ細かな教育活動の実現
- 教育環境の整備

- 【1①】授業力向上に努め、学習指導を充実させることで、生徒の学力向上を図ります。
- 【1②】授業交換や代行授業を完全に実施することを目指し、生徒の更なる学力向上を図ります。
- 【1③】進路希望に応じたコース制により、きめ細かな教育活動の実現による生徒一人一人の学力の伸長を図ります。
- 【1④】一人一台端末の日常的な活用を含むICT機器の活用、少人数指導や習熟度別指導を取り入れ、学習の支援体制を整えます。
- 【1⑤】図書館の利用を促進し、教養豊かな生徒の育成を図ります。
- 【1⑥】学校の一層の施設整備に努め、安全安心な学習環境の場を確保します。

2 希望進路実現(キャリア教育)の実践

- 保護者との連携の充実
- 第一希望進路実現に対する支援の充実
- 進路指導体制の充実
- 保健・医療コース(教育プログラム)の充実

- 【2①】生徒や保護者との面談を充実させ、進路希望の実現を図るためにきめ細かな指導を行います。
- 【2②】看護医療系を希望する生徒へ充実したプログラムを展開し、医療従事者としての人間性、職業観を高めます。
- 【2③】いわき市や地域企業等と連携した地域探究学習など、地域と連携した教育活動を充実させることにより、地域課題に関心を持ち、SDGsの視点から、その解決を図る態度を育成します。
- 【2④】進路選択に向けた多様な視点を学ばせるために、進路講演会や大学等の出張講座を実施します。
- 【2⑤】課外授業等により、個々の生徒の持つ進路目標が十分に達成できるように努めます。
- 【2⑥】校外模試の結果を的確に分析し、進路統計資料をもとに生徒に学習状況を周知することで進路意識を啓蒙します。
- 【2⑦】校外模試対策や小論文指導等をととして学力の定着を図ります。

3 文武両道の実践

- 学習と部活動・委員会活動の両立
- 指導者支援の充実

- 【3①】「文武両道」を実践し、鍛錬された心と体を育み、実りある学習習慣を確立し、謙虚で誠実な行動力と正しい判断ができる人間力を養い、地域社会に貢献できる生徒を育てます。
- 【3②】全国大会、東北大会出場を目指し、高いレベルの技術、礼節を身につけさせます。
- 【3③】生徒会が中心となって、生徒が主体的に活動できる環境を作り、さまざまな行事を通して協働する力を養います。
- 【3④】指導者研修会等に参加し、豊かな人間教育ができる指導力の向上に努めます。

4 生徒指導・支援の充実

- 基本的な生活態度や交通マナーに関する指導の徹底
- 心と体の問題に関する相談や支援の充実
- ボランティア活動の充実

- 【4①】基本的な生活態度や交通マナー等を身に付けさせ、様々な事故の未然防止を図り、地域との信頼を深めます。
- 【4②】スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用するとともに、外部組織・機関と連携しながら、生徒の持つ不安を解消し、安心して学校生活を送れるよう支援します。
- 【4③】学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止と適切な対応に努めます。
- 【4④】適切な性教育や情報モラル教育により、正しい知識を身につけさせ、節度ある行動を取れる生徒を育てます。
- 【4⑤】様々なボランティア活動に積極的に参加させることにより、奉仕の精神を育てます。

5 開かれた学校・学校の在り方の変革

- 情報発信と説明責任を果たすための取組
- 関係諸団体との連携と地域人材の活用
- 多忙化解消と信頼される学校づくり

- 【5①】生徒や保護者・教職員による、学校評価に係るアンケート調査等を活用し、より良い教育活動を展開します。
- 【5②】PTAや教育後援会、同窓会との連携を密にするとともに、地域人材のネットワークを整備・活用することにより、生徒が生き生きと生活・学習できる環境を整え様々な活動への積極的な参加を支援し、地域に愛される学校づくりを目指します。
- 【5③】学校ホームページ、noteを充実させ、学校や生徒の活躍に係る情報の周知を随時行います。
- 【5④】『保健だより』『進路だより』『指導だより』等を充実させ、的確な情報の周知に努めます。
- 【5⑤】業務の適正化を図り、働き方改革を推進します。また、風通しの良い職場を常に意識し、不祥事根絶を目指します。